

## 第2章 基本的な考えかた

### 1 「鎌倉市にふさわしい博物館」の基本理念

第3次鎌倉市総合計画基本構想の「将来都市像」である「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」を目指すための具体的な手法のひとつとして、「鎌倉市にふさわしい博物館」を構築します。

### 2 「鎌倉市にふさわしい博物館」の使命

#### (1) 歴史的遺産を活用した博物館活動

鎌倉を特徴づける豊かな自然環境の中に展開する、歴史的遺産等の地域資源に関する学術的調査研究を推進し、展示や報告書、教育普及事業等を通じて積極的に発信することにより調査研究成果を市民へ還元します。

#### (2) 文化財の適切な保存管理機能の充実

国内有数の質・量を誇る鎌倉の地域固有の資源を適切に保存し有効に活用するにあたり、博物館資料の質や状態に見合った保存管理を行うため、適切な収蔵施設の確保を目指します。

#### (3) 「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進

「歴史的遺産と共生するまちづくり」をより具体的に展開するため、一定の地域全体を博物館ととらえ、現地で保存と展示を行うことを基本とするエコミュージアムの考え方を導入し、社寺や関係団体等の協力と市民の積極的参画のもと、市域全体を博物館として構築することを目指します。

### 3 「鎌倉市にふさわしい博物館」の機能とめざす姿

#### (1) 総合博物館の構築

人文系（歴史・考古・民俗）と自然史系の両分野からなる総合博物館の構築を目指すほか、現在、中央図書館が所管している近世及び近代史資料・民俗資料等について、それらの収蔵も含めた見直しを行い、時代区分を隔てることなく資料を一括して博物館で管理します。

## (2) エコミュージアムの構築

鎌倉市域全体を博物館としてとらえるエコミュージアムを構築し、鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館を中核施設（コア）として、地域に点在する歴史・文化・自然に関する地域資源群を衛星施設（サテライト）と位置付け、現地での保存管理・展示・公開活用を実施します。

さらに、中核施設（コア）と衛星施設（サテライト）を有機的に結び付ける発見の小径（ディスカバリートレイル）の設定について市民とともに検討し、地域住民のガイドや維持管理、一般公開を推進し、行政と市民が一体となる協力関係によってエコミュージアムを運営します。

## 4 「鎌倉市にふさわしい博物館」の事業活動の重点

### (1) 調査研究

鎌倉の歴史文化に関する学術的・専門的調査研究を鎌倉市として組織的に取り組むほか、学芸員個人の各専門分野における取組を奨励し、各文化財に対する理解を深め、文化財の活用方針を定めます。

また、埋蔵文化財センター機能を組み入れることを検討し、埋蔵文化財の保管や調査研究機能の充実を図ります。

同時に、エコミュージアムの実践や運営に係る先進事例の研究を進め、鎌倉市にふさわしいエコミュージアムの形を検討し整備を進めます。

### (2) 情報発信

調査研究成果を、鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館を中心に展示や体験学習として市民に還元するほか、研究紀要や報告書等により専門的な情報の発信を同時に行い、鎌倉市の地域固有の資源の活用を促進します。

### (3) 社寺、市民と一体となった運営

鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館を中核施設（コア）として、市内の博物館施設や教育施設、史跡、その他の文化施設等、現地において生きた文化遺産の魅力を発信する衛星施設（サテライト）の運営について、社寺や中核施設（コア）からの協力と提供情報に基づき、市民の積極参加によるガイドや公開、維持管理を進め、社寺・市民と行政が協働して「鎌倉市にふさわしい博物館」を運営することを目指します。

また、この運営を通じて、市民一人ひとりの自己実現の場を提供し、それぞれのやりがいと生きがいを感じられる活動を促進するとともに、地域アイデンティティー形成に努めます。